

# 平成17年度定期作況報告

<11月20日最終報告>  
道南農業試験場

## 1 気象

本年の根雪終日は3月23日で平年より9日遅く、晩霜は4月30日で平年より5日早かった。

4月：気温は各旬とも低く、平均気温は平年を0.6 下回った。降水量は中旬は少なかったが、上旬が非常に多く、平年の126%であった。日照時間は上旬が少なく、平年の94%であった。

5月：気温は各旬とも非常に低く、平均気温は平年より2.2 低かった。降水量は中旬が多かったが、上・下旬が少なかったため、平年の61%であった。日照時間は各旬ともほぼ平年並みで、平年の103%であった。

6月：気温は下旬が高かったため、平均気温は平年より0.8 高かった。降水量は中旬が非常に多かったが、下旬は降水がなかったため、平年の85%であった。日照時間は下旬は非常に多かったが、上・中旬が少なく、平年の78%であった。

7月：気温は各旬とも低く、平均気温で平年を1.2 下回った。降水量は上・下旬が多かったため、平年の135%、日照時間は中旬が多く、平年の111%であった。

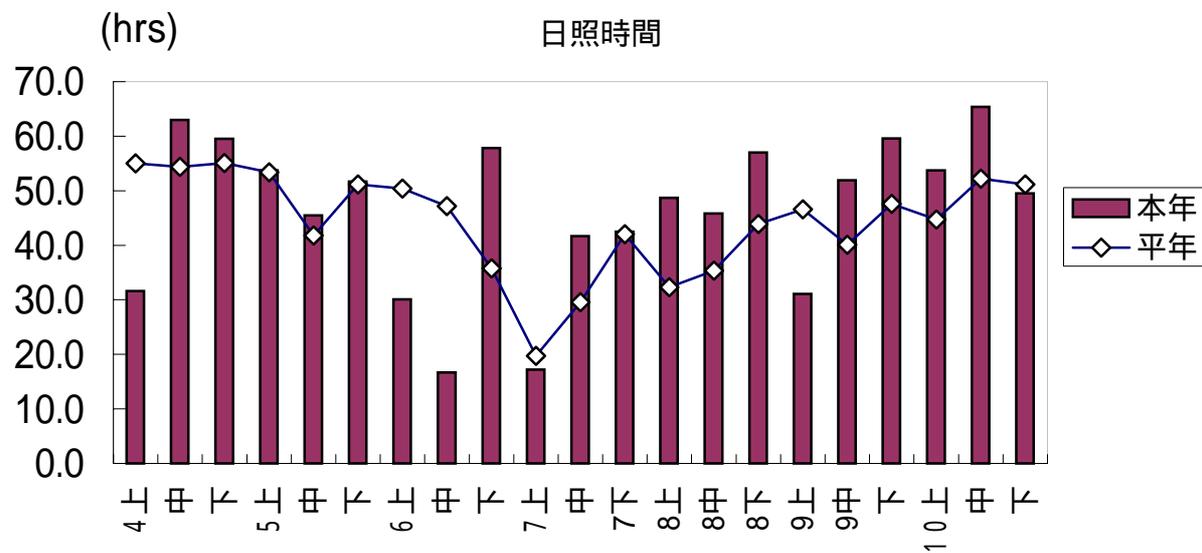
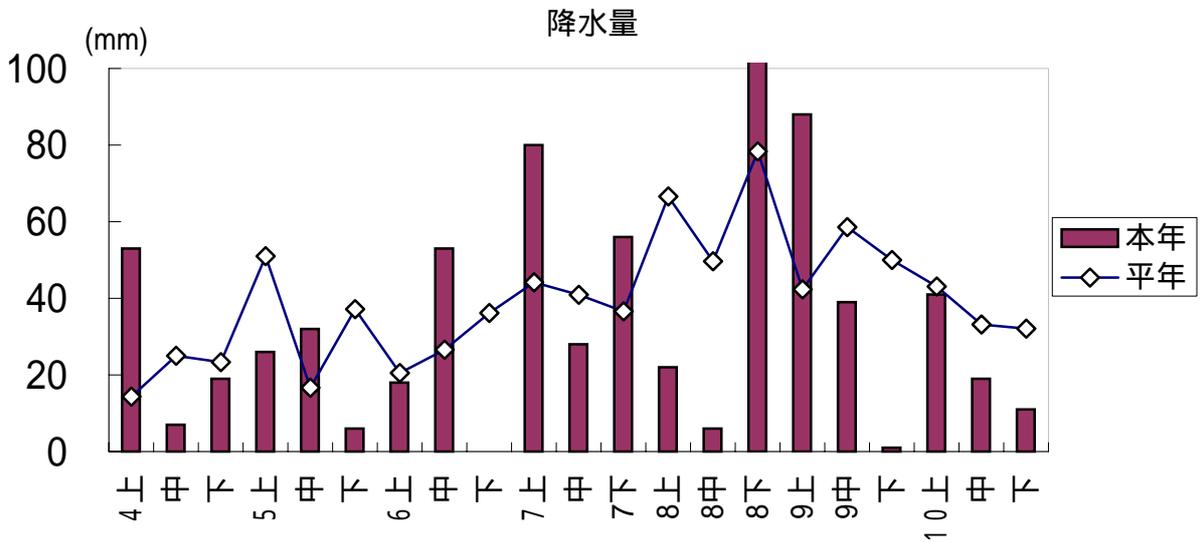
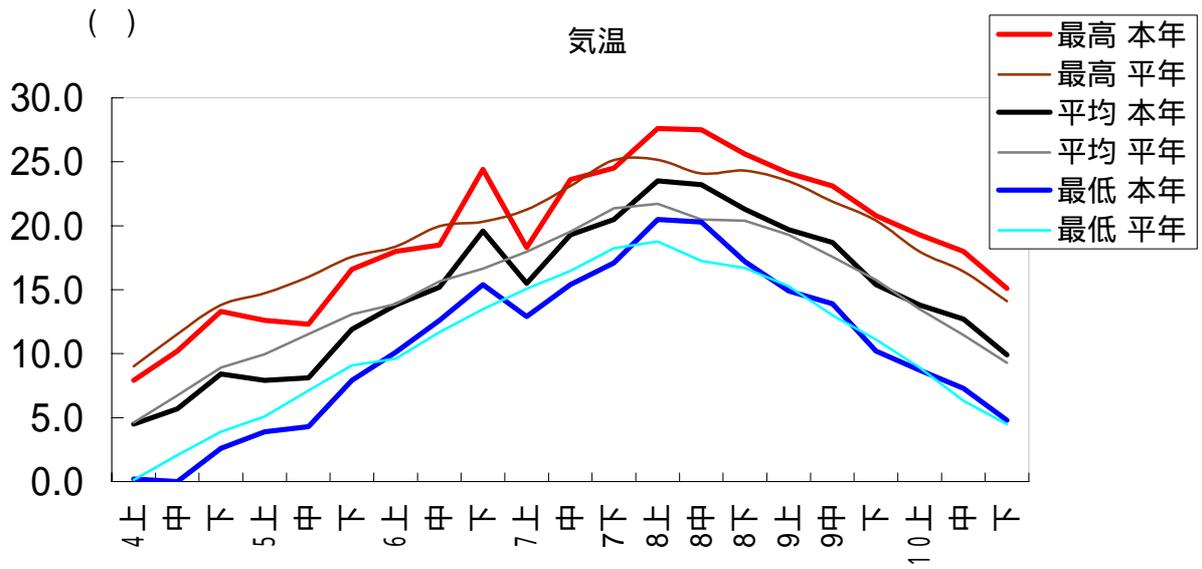
8月：気温は各旬とも高かったため、平均気温で平年を 1.7 上回った。降水量は下旬が多かったが、上・中旬が少なかったため、平年の78%であった。日照時間は多く、平年の136%であった。

9月：気温は中旬が高く、平均気温で平年を0.4 上回った。降水量は上旬が多く、下旬が少なく、平年の85%であった。日照時間は上旬は少なかったが、中・下旬が多く、平年の106%であった。

10月：気温は、各旬とも高かったため、平均気温は平年を1.0 上回った。降水量は中・下旬が少なく、平年の66%であった。日照時間は上・中旬が多く、平年の114%であった。

本年の初霜は11月14日で平年より28日遅く、初雪は11月9日で平年より7日遅かった。

以上、農耕期間の気象についてまとめると、本年の気温は、6月下旬を除いて、7月下旬までは低温傾向で、それ以降は高温で推移した。降水量は全般に少なく、特に5月下旬、6月下旬、8月中旬、9月下旬が少なかった。日照時間は全般に多く、6月下旬、7月中旬、8月、9月中・下旬が多かった。5月から9月の積算では、平年に比べて、積算温度(平年 2604 )は 14 低く、降水量(平年655mm)は 76mm少なく、日照時間(平年617hr)は 34時間多かった。



気象表

月旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量mm			日照時間hr		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4上	4.5	4.6	0.1	7.9	9.0	1.1	0.2	0.1	0.1	53.0	14.3	38.7	31.6	55.0	23.4
中	5.7	6.7	1.0	10.2	11.5	1.3	0.0	2.1	2.1	7.0	25.0	18.0	63.0	54.4	8.6
下	8.4	8.9	0.5	13.3	13.8	0.5	2.6	3.9	1.3	19.0	23.3	4.3	59.5	55.1	4.4
5上	7.9	10.0	2.1	12.6	14.7	2.1	3.9	5.1	1.2	26.0	51.0	25.0	53.7	53.4	0.3
中	8.1	11.5	3.4	12.3	16.0	3.7	4.3	7.1	2.8	32.0	16.7	15.3	45.5	41.8	3.7
下	11.9	13.1	1.2	16.6	17.6	1.0	7.9	9.1	1.2	6.0	37.2	31.2	51.7	51.1	0.6
6上	13.8	13.9	0.1	18.0	18.4	0.4	10.1	9.6	0.5	18.0	20.5	2.5	30.1	50.4	20.3
中	15.2	15.7	0.5	18.5	20.0	1.5	12.6	11.7	0.9	53.0	26.6	26.4	16.7	47.2	30.5
下	19.6	16.6	3.0	24.4	20.3	4.1	15.4	13.5	1.9	0.0	36.2	36.2	57.8	35.8	22.0
7上	15.5	18.0	2.5	18.3	21.3	3.0	12.9	15.1	2.2	80.0	44.2	35.8	17.2	19.8	2.6
中	19.3	19.6	0.3	23.6	23.1	0.5	15.4	16.5	1.1	28.0	40.9	12.9	41.7	29.5	12.2
下	20.5	21.4	0.9	24.5	25.1	0.6	17.1	18.2	1.1	56.0	36.6	19.4	42.5	42.0	0.5
8上	23.5	21.7	1.8	27.6	25.2	2.4	20.5	18.8	1.7	22.0	66.6	44.6	48.7	32.3	16.4
中	23.2	20.5	2.7	27.5	24.1	3.4	20.3	17.2	3.1	6.0	49.7	43.7	45.8	35.4	10.4
下	21.3	20.4	0.9	25.6	24.3	1.3	17.2	16.7	0.5	124.0	78.3	45.7	57.0	43.9	13.1
9上	19.7	19.3	0.4	24.1	23.5	0.6	14.9	15.3	0.4	88.0	42.3	45.7	31.1	46.6	15.5
中	18.7	17.6	1.1	23.1	21.9	1.2	13.9	13.0	0.9	39.0	58.6	19.6	51.9	40.1	11.8
下	15.4	15.8	0.4	20.8	20.4	0.4	10.2	11.1	0.9	1.0	50.0	49.0	59.6	47.6	12.0
10上	13.8	13.5	0.3	19.3	18.0	1.3	8.7	8.9	0.2	41.0	43.1	2.1	53.7	44.7	9.0
中	12.7	11.5	1.2	18.0	16.4	1.6	7.3	6.3	1.0	19.0	33.1	14.1	65.4	52.2	13.2
下	9.9	9.3	0.6	15.1	14.1	1.0	4.8	4.5	0.3	11.0	32.1	21.1	49.5	51.1	1.6

注1)観測値は大野のアメダスデータを使用。

注2)平年値は前10カ年の大野のアメダスデータを使用し道南農試作成。

注3)「平均又は合計」は道南農試作成。

注4)表中 印は低又は少を示す。

季節調査(年.月.日)

区別	根雪始	根雪終日	降雪終日	耕鋤始	晩 霜	初 霜	降雪始
本年	16.12.20	17.3.23	17.4.2	17.4.4	17.4.30	17.11.14	17.11.9
平年	12.15	3.14	4.13	4.10	5.5	10.17	11.2

注1)函館海洋気象台(函館市美原)の観測値及び平年値。(統計期間 霜・降雪 1873～2000年、根雪 1891～2000年)

注2)耕鋤始は農試データ。

農耕期間積算値(5～9月)

区別	平均気温( )	降水量(mm)	日照時間(hr)
本年	2590	579	651
平年	2604	655	617

注:本年値は大野のアメダスデータを使用し農試で作成。平年値は前10カ年の大野のアメダスデータを使用し農試で作成。

## 2 当场作況

### 水稻 不良

播種は平年並の4月18日に行った。しかし、播種後の気温が低く、出芽期は平年よりやや遅れた。また、育苗期間中である5月上・中旬の気温が平年を大きく下回ったため、苗の生育は非常に緩慢で、移植時の苗質は、平年より劣った。

移植は5月20日に行った。その後1か月間、低温寡照傾向で推移したため、生育は平年より劣った。しかし、6月下旬が高温・多照に、7月中旬が比較的多照に経過したため、生育は順調に進み、草丈、茎数、主稈葉数は平年並みまで回復した。また、幼穂形成期は「きらら397」が平年より2日遅く「ほしのゆめ」が平年並みであった。また、止葉期は「きらら397」が平年並み、「ほしのゆめ」が平年より1日遅かった。出穂期は、7月下旬が低温傾向に推移したため、両品種ともに平年より3日遅れたものの開花・受精は順調であった。出穂後の好天により、登熟は順調に進み、成熟期は「きらら397」で平年より3日遅れたが、登熟日数は平年並み、「ほしのゆめ」では平年より5日早く、登熟日数は平年より8日短かった。

成熟期における各形質は、「きらら397」は稈長・穂長が平年並みで、穂数が平年よりやや多かった。「ほしのゆめ」は稈長が平年より短かったが、穂長は長く、穂数は平年より少なかった。両品種とも平年に比べて一穂粒数が少なかったため、総粒数は平年を下回り、不稔歩合が両品種とも5%台と非常に低かったものの、稔実粒数は平年より少なかった。また、倒伏等の障害は観察されず、登熟期間中の気象条件が良好であったため、登熟歩合は平年より高く、千粒重も平年をやや上回った。屑米重はほぼ平年並みであった。精玄米重は平年を大きく下回り、「きらら397」が48.4kg/aで平年の93%、「ほしのゆめ」が42.3kg/aで平年の85%であった。玄米検査等級は「きらら397」が2等と落等したが、「ほしのゆめ」は1等であった。

本年の低収の要因は、生育初期の低温の影響で、一穂粒数が少なく、総粒数が確保されなかったためと考えられる。

以上のことから、本年の作況は「不良」である。

生育及び収量調査成績

項 目	きらら397(中苗)			ほしのゆめ(中苗)			(参)渡育240号(中苗)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播 種 期(月日)	4.18	4.18	0	4.18	4.18	0	4.18	(4.19)	-	
移 植 期(月日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20	(5.20)	-	
幼 穂 形 成 期(月日)	7.06	7.04	2	7.02	7.02	0	7.08	(7.07)	-	
止 葉 期(月日)	7.21	7.21	0	7.20	7.19	1	7.24	(7.25)	-	
出 穂 期(月日)	8.04	8.01	3	8.02	7.30	3	8.06	(8.06)	-	
成 熟 期(月日)	9.29	9.26	3	9.16	9.21	5	9.29	(10.06)	-	
穂 揃 日 数(日)	7	7	0	8	9	1	7	(7)	-	
登 熟 日 数(日)	56	56	0	45	53	8	54	(61)	-	
生 育 日 数(日)	164	161	3	151	156	5	164	(170)	-	
草丈(cm)	移植時	10.4	12.2	1.8	10.7	13.4	2.7	10.0	(13.3)	-
	6月20日	29.9	26.9	3.0	31.3	29.0	2.3	31.9	(31.7)	-
	7月20日	60.1	60.8	0.7	65.5	66.1	0.6	64.5	(62.8)	-
茎数(本)	移植時	1.0	1.1	0.1	1.0	1.1	0.1	1.0	(1.2)	-
	6月20日	264	387	123	270	397	127	265	(358)	-
	7月20日	800	767	33	812	793	19	941	(897)	-
葉数(枚)	移植時	2.6	3.3	0.7	2.7	3.0	0.3	2.7	(3.0)	-
	6月20日	6.7	7.6	0.9	6.5	7.3	0.8	6.5	(7.4)	-
	7月20日	10.9	11.0	0.1	10.5	10.3	0.2	10.6	(10.3)	-
止 葉 葉 数(枚)		11.2	11.3	0.1	10.7	10.5	0.2	11.2	(11.1)	-
成熟期	稈長 (cm)	64.8	64.8	0.0	68.7	69.8	1.1	76.8	(72.7)	-
	穂長 (cm)	16.1	16.1	0.0	17.5	15.8	1.7	16.0	(15.9)	-
	穂数 (本)	603	587	16	615	657	42	622	(638)	-
一 穂 籾 数		46.0	52.3	6.3	43.5	49.2	5.7	44.0	(47.5)	-
m <sup>2</sup> 当 籾 数(×100)		277	307	30	268	320	52	274	(299)	-
稔 実 籾 数(×100)		262	274	12	252	290	38	257	(251)	-
不 稔 歩 合 (%)		5.5	10.6	5.1	5.9	9.7	3.8	6.3	(15.8)	-
登 熟 歩 合 (%)		81.4	77.6	3.8	87.2	82.6	4.6	85.8	(79.7)	-
籾 摺 歩 合 (%)		79.7	79.2	0.5	77.5	76.5	1.0	77.7	(76.1)	-
屑 米 重(kg/a)		2.2	2.1	0.1	3.3	3.5	0.2	3.9	(4.1)	-
屑 米 歩 合 (%)		4.3	3.9	0.4	7.2	6.6	0.6	7.1	(7.8)	-
立 重 (g)		827	821	6	839	827	12	831	(829)	-
千 粒 重 (g)		22.1	21.9	0.2	21.6	21.0	0.6	22.3	(21.6)	-
わ ら 重(kg/a)		54.9	51.5	3.4	52.4	53.7	1.3	62.3	(65.8)	-
精 籾 重(kg/a)		60.7	66.0	5.3	54.6	65.2	10.6	65.5	(63.7)	-
精 玄 米 重(kg/a)		48.4	52.3	3.9	42.3	49.9	7.6	50.9	(48.5)	-
収 量 平 年 比 (%)		93			85			(105)		
玄 米 検 査 等 級		2上	1下		1	2上		1	(3上)	

注1)平年値は前7か年中、平成15年(最凶年)、同12年(最豊年)を除く5か年の平均値を用いた。

栽植密度:25.3株/m<sup>2</sup> 1株3本植え、篩目: 1.90mm

精玄米重・千粒重の本年値は水分15%補正值。

登熟歩合は比重1.06の塩水で調査した。表中の 印は減又は早を示す。

注2)参考:「渡育240号」の( )内の数値は平成14・15・16年の平均値。